



公開ワークショップ 心理言語学と神経科学

日時：2016年7月16日（土）－17日（日）

場所：九州大学・箱崎キャンパス・21世紀交流プラザ I 多目的ホール

司会：矢野 雅貴（東北大学・JSPS）

－7月16日（土）－

14:00-14:35

田村 彩香¹・Uli Sauerland²・小泉 政利¹・Jack Tomlinson²
(¹ 東北大学, ² Zentrum für Allgemeine Sprachwissenschaft)

「りんごやみかん」は「りんごとみかん」「りんごかみかん」とどう違うのか－マウストラッキング実験による検証－

14:35-15:10

於保 淳（東北大学大学院）

英語比較量化子のスコープとその構造－同じりんごが同時に2つ以上の場所に存在するなんてありえない！－

15:25-16:00

菅原 彩加（MIT・三重大学）

りんごが落ちるかどうかについての考察－英語学習者における音韻論・意味論インターフェイス－

16:00-16:35

内田 翔大^{1,2}・新井 学³・宮本 エジソン⁴・広瀬 友紀¹・小林 由紀¹・伊藤 たかね¹
(¹ 東京大学, ² JSPS, ³ 成城大学, ⁴ 筑波大学)

事象関連電位（ERP）を用いた Surprisal Theory に基づく日本語文処理メカニズムの研究

16:50-17:25

井上 雅勝（武庫川女子大学）

統計改革と心理言語学
一帰無仮説検定から量的判断（効果量・信頼区間）へ

17:25-18:00

松本 敦・曾雌 崇弘・藤巻 則夫・井原 綾

（国立研究開発法人 情報通信研究機構 脳情報通信融合研究センター）

意味情報のカテゴリー化に関する2重システム

-7月17日(日)-

9:30-10:05

井原 綾¹・早川 友恵²・曾雌 崇弘^{1,3}・三村 隆則¹・藤巻 則夫¹

(¹国立研究開発法人 情報通信研究機構 脳情報通信融合研究センター, ²帝京大学,
³現:国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター)

ニューロモジュレーションによる言語理解の促進
ー経頭蓋直流電気刺激 (tDCS) 研究ー

10:05-10:40

曾雌 崇弘 (国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター)

ローカル言語処理の二面性

<< 2 語文実験セッション >>

11:00-11:30

荒生 弘史 (大正大学)

聴覚呈示の2語文の処理過程

11:30-12:00

矢野 雅貴 (東北大学・JSPS)

*サンマを焦げる。に対する LAN 効果は格違反に反応しているのかーSOA 操作による期待効果の検討ー

12:00-12:40

諏訪園 秀吾 (独立行政法人 国立病院機構 沖縄病院 脳・神経・筋疾患研究センター)

ERP の ERP たる所以と P600ー確率効果・課題関連性を P600 で検討することー

ー問合せ先ー

<会場へのアクセス等について>

<発表について>

九州大学文学部言語学・応用言語学研究室

矢野雅貴 (東北大学・JSPS)

092-642-2415

masayano[@]kyudai.jp